MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機パッケージエアコン

別付温度センサー 据付説明書

PAC-CZ26TS（12m） PAC-CZ28TS（30m）
PAC-CZ27TS（20m） PAC-CZ29TS（40m）

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。

（一般禁止） （接触禁止） （水ぬれ禁止） （一般指示）

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

電気配線工事は「第一種電気工事士」の資格のある者が行うこと。

⚠警告

◎据付工事をするときに

販売店または専門業者が本書に従って据付工事を行うこと。
- 不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・感電・火災のおそれあり。

指示を実行

水のかかるおそれのある場所・湿度が高く結露するような場所には据付けないこと。
- ショート・発火・感電・火災・故障のおそれあり。

水ぬれ禁止

ユニットの質量に耐えられるところに据付けること。
- 強度不足や取付けに不備がある場合、ユニットの転倒・落下のおそれあり。

指示を実行

◎電気工事をするときに

第一種電気工事士の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って電気工事を行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。
- 電源回路容量不足や施工不備がある場合、ユニットの故障・感電・発煙・火災のおそれあり。

指示を実行

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。
- 接続や固定に不備がある場合、断線・発熱・発煙・火災のおそれあり。

指示を実行

配線に外力や張力が伝わらないようにすること。
- 断線・発熱・発煙・火災のおそれあり。

指示を実行

電流容量などに適合した規格品の配線を使用して電源配線工事をすること。
- 漏電・発熱・火災のおそれあり。

指示を実行

病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。
- インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、ユニットの誤動作や故障が発生するおそれあり。
- ユニット側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音の弊害が生じたりするおそれあり。

指示を実行

◎配線工事をするときに

配線引込口をパテでシールすること。
- 露・水・ゴキブリ・虫などが侵入すると、感電・火災・故障のおそれあり。

指示を実行

◎一般注意

特殊環境では、使用しないこと。
- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。

使用禁止

◎移設・修理をするときに

移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。分解・改造はしないこと。
- 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

⚠注意

◎据付工事をするときに

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しないこと。
- 可燃性ガスがユニットの周囲にたまると、火災・爆発のおそれあり。

据付禁止

◎一般注意

水・液体などで洗わないこと。
- ショート・発火・感電・火災・故障のおそれあり。

水ぬれ禁止

◎修理をするときに

基板裏面を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させたりしないこと。
- 火災・故障のおそれあり。

接触禁止

お願い

直射日光のあたる場所、または周囲温度が40℃以上・0℃以下になる場所にリモコンを据付けないこと。
- 変形・故障のおそれあり。

1 部品確認

箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

(1) 温度センサー本体・・・・・・・・・・・・1
(2) 木ネジ 4.1×16 ・・・・・・・・・・・2
(3) シール（吹出・吸込）・・・・・・・・・各1

2 据付方法

(1)温度センサー（スイッチボックス）の据付位置を決めてください。但し、下記の事項を必ず守ってください。

①温度センサーは、吸込・吹出空気の平均的な温度を検知できる場所で直射日光や熱源、エアコンの吹出空気が直接当たらない所をお選びください。
②センサーケーブルは、電源配線の電気ノイズを受けないよう離して施工してください。
③下記の部品は、現地にて調達してください。
- ●十字穴付ナベネジ M4・・・・2本
- ●1個用スイッチボックス （JIS C8336）
- ●薄鋼電線管 （JIS C8305）
- ●ロックナット・ブッシング （JIS C8330）

(2)ケーブルを接続します。

●2心ケーブルを壁埋込みにする場合は図1のようになります。

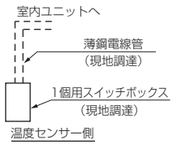


図1

①電気品箱へのケーブルの引込みは、ユニット側面又は底面にある配線貫通穴（連絡配線穴）を利用してください。
②【センサーを吸込温度センサーとして使用する場合】
TH21の中継コネクターに接続してください。
【センサーを吹出温度センサーとして使用する場合】
TH24の中継コネクターに接続してください。
《多点温度制御を行う場合》
【センサーを吸込温度センサーとして使用する場合】
TH31・TH32・TH33（2Pシロ）に接続してください。
【センサーを吹出温度センサーとして使用する場合】
TH34・TH35・TH36（2Pシロ）
に接続してください。
③付属のシールをケーブルに貼り付けてください。（図2）

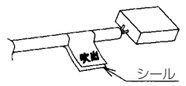
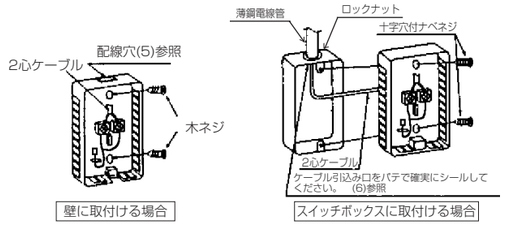


図2

(3)下ケースを壁またはスイッチボックスに取付けます。

⚠ 注意 ネジを締めすぎますと、ケースの割れ・変形の原因になります。



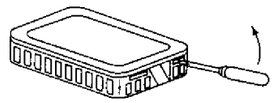
⚠ 注意 平らな壁に取付けてください。凹凸のある壁に取付けますと、ケース割れや故障の原因になります。

(4)上ケースをはめ込みます。

上部爪（2ケ所）を先に掛けて、左図の様にはめ込みます。

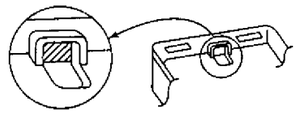
⚠ 注意 "パチッ"と音がするまで確実にはめ込んでください。確実にはめ込んでいない場合、落下のおそれがあります。

ケースを外したい場合、下図の様にマイナスドライバーを爪部分にはめ込み、矢印で示す方向に動かしてください。

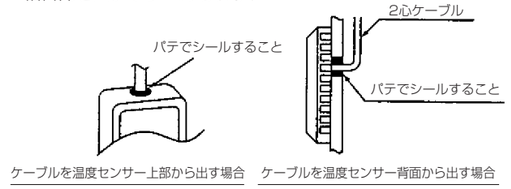
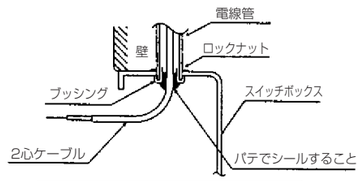


⚠ 注意
ドライバーを爪にはめ込んだ状態で回転させないでください。爪がこわれてしまうことがあります。

(5)壁などに直接取付ける場合の配線穴



下ケースの薄肉部（斜線部）をナイフ・ニッパーなどで切取ってください。端子台に接続した2心ケーブルをここから出します。

(6)露、水滴、ゴキブリ、虫等の侵入防止のためケーブル引込口をパテで確実にシールしてください。

- ●壁に直接取付けた場合は下ケースの切取った部分をパテでシールします。また、壁に穴をあけケーブルを通す場合（ケーブルを温度センサー背面から出す場合）その穴も同様にシールしてください。
- ●スイッチボックスに取付けた場合はスイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールします。